

○議長（濱野良一君）

教育民生常任委員長 岡野能之君。

○教育民生設常任委員長（岡野能之君）

おはようございます。

閉会中の令和3年4月22日に教育民生常任委員会を開催いたしましたので、その内容を報告いたします。

健康福祉課から、新型コロナウイルスワクチンの集団接種の受け付けについて、受け付け方法の不備により、住民の皆さまに多大なる迷惑をかけ、不信感を招いたことのお詫びと、その原因や今後の対応について説明がありました。

要因としては、65歳以上の方へ早期の接種開始を目指したが、65歳以上の方すべてを一度に対象とした場合の対策について、検討が不十分なまま進めてしまい、大きな混乱を招くことになってしまった。

4月9日の受付開始日には900人の受付をすることとし、電話回線は、やすらぎプラザ電話交換機の容量の上限の3回線に対応したが、受け付け開始直後から電話が集中し、終日、つながりにくい状態となったと説明がありました。

また、直接窓口に来られた方への対応については、やすらぎプラザでは、普段から各種問い合わせに対し、窓口での対応をしていたため、必要だと考えていた。ただし、密状態になることを避ける必要があるため、窓口受け付けについては、積極的に周知をしていなかったと説明がありました。

今後については、両町・小豆郡医師会と協議し、5月24日から医療機関での個別接種を開始できないか相談しており、次回の案内では、6月下旬以降の集団接種と、医療機関での個別接種の案内を考えている。

受け付け方法については、電話回線を増やすとともに、受け付け対象年齢を絞り、順次受け付けしていくことで混乱を避け、接種機会の確保及び十分な受け付けができる体制を取りたいと考えているとの報告がありました。

委員より、ワクチンの確保と個別接種の予約方法について質問があり、ワクチンについて、国は5月11日より2週間ごとに発送すると広報している。個別接種の予約先については、土庄町の医療機関を希望する場合は土庄町の予防接種係、小豆島町の医療機関を希望する場合は小豆島町の予約センターで電話で申し込みすることになると、回答がありました。

また、今後の集団接種の予定については、6月20日以降、総合会館で約1200人の実施を予定している。6月7日、8日、10日の各地区での接種は、1日100名の予約枠となっているが、移動が困難な方もいるので、各地区の方に限定して、もう少し枠を増やせないか協議をしているとのことでした。

また、豊島地区の接種についても質問があり、人口1000人未満の離島は、65歳未満の方も接種できるようになっており、今回で約半数の方に接種の機会が

あるが、さらに集団接種を 1 回から 2 回実施する必要があると回答がありました。

委員より「移動が困難な方や電話ができない方もいるので、何回か地区での集団接種をしてほしい。」との意見や「住民はいつ打てるのかという不安感を持っている。今後のワクチンの確保、接種予定が分かった時点で、正確に早く伝えてほしい。」といった意見がありました。

また、高齢者施設の入居者や職員、医療機関の従事者の接種状況について質問があり、医療機関の従事者は、ほぼ終了している。高齢者施設については、豊島ナオミ荘は 4 月中旬に入所者及び職員の 1 回目のワクチン接種が終了しているが、それ以外の施設については、施設と嘱託医で日程調整の上、順次接種の予定であるとの回答がありました。

次に住民環境課より、小豆地区広域行政事務組合が進めている、小豆地区粗大ごみ及び不燃ごみ破碎選別処理施設、いわゆる中間処理施設の整備事業について、小豆地区広域行政事務組合の資料をもとに説明がありました。

中間処理施設の整備により、ごみの減容化、資源化が図られ、埋立処分量は 60%以上の減少、埋立期間は土庄町で約 2.5 倍、小豆島町で約 3 倍に伸びることが見込まれるとのことでした。

スケジュールは、令和 3 年度中に用地取得、令和 4 年度から造成工事、建築工事等に着工、令和 5 年度中に工事を完了し、令和 6 年 4 月に施設稼働開始を予定しているとの説明がありました。

委員より、土庄町が現在委託している、中間処理業者との今後についての協議や中間処理施設完成後の土庄町の負担額やその根拠について説明する場を設けてほしいとの意見がありました。

以上で、閉会中に開催された教育民生常任委員会の報告を終わります。